

園だより



ご卒園おめでとうございます！

—新しい未来への第一歩を祝して—

第一幼稚園 第3号 2016. 3. 18.

4月から新園舎での生活が始まり、園内のいたるところで異年齢のかかわりが自然と生まれ、お互いの生活に興味・関心を持ちながら過ごしてきたこの一年。初めて迎えたたんぽぽ組（0・1歳児）のお世話を通して子ども達に育まれてきたいたわりや思いやりの心は、“温かい愛情あふれる環境”のひとつとして私たちの生活を支えてくれました。いよいよ明日は『卒園式』。年長児の園生活を振り返ると、心身の成長を嬉しく思う反面一抹の寂しさを感じます。

卒園式に向けては、「話を聴く」「返事をする」「目と目を合わせる」など日々の生活の中で大切に積み重ねてきたことを基に取り組んできました。特別なことをするのではなく、日頃から意識して行ってきたことがそのまま式のお稽古にも応用され、“行事は日常生活の延長上にある”ことを子ども達が証明してくれました。ひとり一人のまっすぐで真剣な眼差しからは、“頑張るときは頑張る”の気持ちがひしひしと伝わってきます。明日は皆、自身に満ちた笑顔で式に臨んでくれることでしょう。

子ども達の入園以降、私達は『子ども自身が自分で考え、判断し、行動していく過程』を大切にしてきました。生活や遊びの場で子ども達が困難にぶつかったときには、直ぐに解決方法を知らせるのではなく、「どうしたらいいのかな。」と言葉を掛け、先ずは自分で考えるよう促してきたところです。安心できる環境の中で、子ども自身が自分の思い（考え）を言葉で相手に伝え合う経験を通して‘こんな考えもあるんだなあ’と多様な思いに気付くことができました。ひとりでは上手くいかないことも、友達と力を合わせることで乗り越えることができたように思います。

また、日常的に続けてきた“良いところみつけ”も「自己肯定感」や「他者との調和・コミュニケーション能力」につながる重要なものとして、互いを認め合う関係づくりの基になっていたような気がします。

子ども達はこれからも様々な困難にぶつかることと思いますが、園生活での経験を活かし決して諦めることなく『やればできる』の気持ちで挑戦してくれるものと信じています。

保護者の皆様には、園のパートナーとして在園中温かいご協力をいただき、本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。お子様は卒園されますが、第一幼稚園はいつまでも‘心のふるさと’として皆様の成長を見守り続けてまいります。いつでもお気軽にお立ち寄りください。

これからも 大切なメッセージを
みんなで伝え合いましょう



できるまで待ってるよ



食育（給食）

4月から始まった給食。毎日お昼頃になると漂ってくるいい香りが食欲をそそり、給食の先生方が手作りされる過程を見ることで、食への興味・関心もより高まりました。

食事の前に唱和する、「ありがとうございます。」「いただきます。」の言葉には、子ども達の“作っていただいたこと”や“命をいただくこと”への感謝の気持ちが込められています。こうした毎日の食事（給食）は、バランスのとれた体作りだけでなく、心も豊かに成長させてくれたように思います。

また、給食を通してみんなと一緒に食べることの楽しさを存分に味わった子ども達です。今後もご家族揃って食卓を囲み、楽しく会話を交わしながら、子ども達に『我が家の味』を伝えていってほしいと願っています。

～『ありがとう』の気持ちを込めて～
全職員に年長さんからの手紙が渡されました。

安全

園では、子ども達が自分で自分の身を守るようになるためにはどうすればよいのかを常に考えながら、様々な活動に取り組んできました。園での決まりやバス乗車での約束事を伝える際には、『なぜそれが必要なのか』を分かりやすく話してきたところです。

4月からは、歩いての登校となります。登下校中の『安全』に関しては、保護者の皆様がお子様としっかり話し合い、**大切な命は自分で守るという意識付け**を繰り返し行ってほしいと思います。